

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	SOLA 沖縄保健医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	救急救命士学科	夜・通信	46 単位	9 単位	
	柔道整復師学科	夜・通信	83 単位	9 単位	
	臨床工学技士学科	夜・通信	45 単位	9 単位	
文化・教養専門課程	スポーツ科学 CS トレーナー学科	夜・通信	33 単位	6 単位	
	スポーツ整体メディカルトレーナー学科	夜・通信	50 単位	6 単位	
衛生専門課程	パティシエ・ブーランジェ学科	夜・通信	616 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sola.ac.jp/sola/guide/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	SOLA 沖縄保健医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sola.ac.jp/sola/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	沖縄銀行コザ支店長／沖縄総合警備保障株式会社代表取締役会長（前職）	平成31年2月5日～令和3年2月4日	銀行経験者としての財務健全と全国規模の警備会社としての人材育成
非常勤	県立南部医療センター・こども医療センター院長（前職）／医療法人天仁会天久台病院医師（現職）	平成31年2月5日～令和3年2月4日	医療従事者（医師）としての本学園の医療分野の人材育成
非常勤	ホルス・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長（現職）	平成31年2月5日～令和3年2月4日	本学園の観光及びグローバル人材育成、本学園施設充実の実施
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	SOLA 沖縄保健医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sola.ac.jp/sola/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(期末テストの受験資格)</p> <p>期末テストについて、次の各号の一に該当する学生は受験資格がない。</p> <p>(1) 当該授業科目について授業時限数の 3 分の 1 (実習科目の場合は 5 分の 1) を超えて欠席した者。</p> <p>(2) 当該授業科目の学力考査の開始時刻に 20 分以上遅れて入室した者学力考査は、原則として、学年の前半終了時及び後半終了時に期末テストとして、全授業科目について行う。授業科目の担当教員は、前項のほか、随時、担当科目について小テスト、中間テストレポート、学習意欲等を総合的に判断し数値化したものを評価とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立てる(現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.sola.ac.jp/sola/guide/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則5条に規定する修業年限(スポーツ科学CSトレーナー学科、スポーツ整体・メディカルトレーナー学科、パティシエ・ブーランジェ学科は2年、救急救命士学科、柔道整復師学科、臨床工学技士学科は3年)以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1)当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2)実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.sola.ac.jp/sola/guide/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	SOLA 沖縄保健医療工学院
設置者名	学校法人 SOLA 沖縄学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sola.ac.jp/sola/guide/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sola.ac.jp/sola/guide/
財産目録	https://www.sola.ac.jp/sola/guide/
事業報告書	https://www.sola.ac.jp/sola/guide/
監事による監査報告（書）	https://www.sola.ac.jp/sola/guide/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2880 単位時間/単位	1440 単位時間 /単位	315 単位時 間/単位	1125 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2880 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		99人	0人	4人	25人	29人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立てる（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>学則5条に規定する修業年限（救急救命士学科は3年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	15人 (54%)	13人 (46%)
（主な就職、業界等） 病院（公益財団法人北部地区医師会病院、医療法人おもと会大浜第一病院、社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院、田園二子クリニック、野猿峠脳神経外科病院） 消防（浦添消防本部、中城北中城消防本部、柚ヶ浦市消防本部）			
（就職指導内容） 面談指導、公務員試験（教養）対策			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士、潜水土、乙種第4類危険物取扱者			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
103人	8人	7.77%	
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由			
（中退防止・中退者支援のための取組） プリセッター制の導入、定期面談			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2829 単位時間/単位	1764 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	765 単位時間 /単位
			2829 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		69人	0人	5人	17人	22人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立つ（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>学則5条に規定する修業年限（柔道整復師学科は3年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 接骨院、介護施設、スポーツ関連施設			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、企業研究、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師、JATI 認定トレーニング指導者資格			
（備考）（任意記載事項）			
途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
68人	8人	11.76%	
（中途退学の主な理由） 学習意欲の喪失、経済的理由			
（中退防止・中退者支援のための取組） 学力低下の学生に対する補習授業の実施。 個別面談、三者面談の実施			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学技士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2715 単位時間/単位	1390 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	875 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2715 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		98人	0人	6人	20人	26人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立つ（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）学則5条に規定する修業年限（臨床工学技士学科は3年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	20人 (58.8%)	14人 (41.2%)
（主な就職、業界等） 病院、医療機器メーカー			
（就職指導内容） 就職説明会、就職ガイダンス、個人面談、就職直前個人指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第32回臨床工学技士国家試験合格率84%（25名受験 21名合格） 第1種ME技術実力検定試験合格率33.3%（6名受験 2名合格） 第2種ME技術実力検定試験合格率32.5%（40名受験 13名合格） MDIC（医用機器情報コミュニケーター）認定試験合格率 100%（1名受験 1名合格）			
（備考）（任意記載事項）			
途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
34人	9人	8.8%	
（中途退学の主な理由） 進路変更（基礎学力不足による目的意識の喪失）、経済的理由、健康上の理由			
（中退防止・中退者支援のための取組） 学力低下の学生に対する補習授業の実施。個別面談、三者面談の実施			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	スポーツ科学CSトレーナー学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2085 単位時間/単位	1305 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	780 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2085 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		76人	0人	2人	13人	15人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立てる（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>学則5条に規定する修業年限（スポーツ科学CSトレーナー学科は2年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	1人 (8%)	11人 (92%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツクラブ・デイケアサービス			
（就職指導内容） 企業説明会・インターンシップ・特別講話			
（主な学修成果（資格・検定等）） NSCA-CPT・JATI-ATI・健康運動実践指導者			
（備考）（任意記載事項）			
途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
16人	3人	18%	
（中途退学の主な理由） 家庭の事情により就職、希望の職種が他にみづかり就職、希望の進路変更			
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生との個人面談及び、オープンキャンパス等の学科説明や業界説明、保護者面談等			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツ整体メディカルトレーナー学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2235 単位時間/単位	735 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1470 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2235 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		69人	0人	2人	17人	19人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立てる（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）学則5条に規定する修業年限（スポーツ整体・メディカルトレーナー学科は2年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	42人 (58.8%)	3人 (41.2%)
（主な就職、業界等） 接骨院、機能訓練ディサービス			
（就職指導内容） 企業説明会、インターンシップ			
（主な学修成果（資格・検定等）） NPO 法人セラピスト認定協会整体セラピスト 3 級/2 級、健康運動実践指導者			
（備考）（任意記載事項）			
途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
71人	1人	1.40%	
（中途退学の主な理由） 他職種へ就職			
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、三者面談			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	パティシエ・ブーラン ジェ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1826 単位時間／単位	886 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	940 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1826 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	31人	0人	4人	11人	17人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、授業の方法及び内容、到達目標、並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。</p> <p>また、学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、基準を定め客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習成績報告及び実習施設先の指導者による評価によるものとする。</p> <p>評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>また、次年度に向かって成績分布状況の把握のためにGPA方式の導入を行い、定期考査終了後に面談を実施し学科ごとにGPAの分布や平均値を算出して提示し、学生指導に役立つ（現学則により作成しており、次年度からは5段階表記する。</p> <p>90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、S、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。</p> <p>各ポイントはSを4点 Aを3点 Bを2点 Cを1点 Dは0点としGPAを算出する。）</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）学則5条に規定する修業年限（パティシエ・ブーランジェ学科は2年）以上在籍し、当該学科の定める所定の授業科目のすべての単位を修得し、かつ卒業試験に合格した学生について、職員会議の議を経て校長が卒業を認定する。ただし以下の者には認めない</p> <p>(1) 当該授業科目について学習の評価に不合格がある者。</p> <p>(2) 実習科目については当該実習日数の5分の1を超えて欠席した者、それ以外の授業科目については当該授業時限の合計3分の1を超えて欠席した者</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリアの設置、ボランティア活動への支援等を行っている。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 製菓店、製パン店、ホテル、レストラン等の製菓、製パン部門			
（就職指導内容） 学級担任及び就職支援室での模擬面接の実施やインターシップ、協会行事への参加、 企業訪問、来校型企业説明会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 製菓衛生師、スイーツコンシェルジュ、ヘルシー&ビューティー、フードアドバイザー			
（備考）（任意記載事項）			
途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
30人	1人	3%	
（中途退学の主な理由） 家庭の事情による進路変更			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、学科長等の定期的な個人面談の実施			

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
救急救命 士学科	150,000 円	850,000 円	400,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
柔道整 復師学科	150,000 円	850,000 円	500,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
臨床 工学技士 学科	150,000 円	850,000 円	500,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
スポー ツ科学CS トレーナ ー学科	100,000 円	530,000 円	300,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
スポーツ 整体メデ ィカルト レーナー 学科	100,000 円	390,000 円	300,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
パティシ エ・ブーラ ンジェ学 科	150,000 円	530,000 円	300,000 円	(その他内訳：実習費+施設維持 費とする)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
2020年度から評価を実施・公表する。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
「専修学校における学校評価ガイドライン」に添って教育理念・目標・人材育成像・学校運営・教育活動・学習成果等の項目で、先ず学内にて教職員が、自校の教育活動その他の学校運営の状況について評価である「自己評価」をおこなう。学校関係者評価委員会では、「自己評価」の結果について審議、評価を行い、学校に報告する。学校は、学校関係者評価委員会の評価結果や得られた意見を反映し改善できるものから改善する。学校関係者評価委員会の構成委員は医師、関連企業団体有識者、企業役員、保護者、卒業生代表で 人数は4名から5名を予定している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
久木田一朗（救急救命士学科） 琉球大学医学部付属病院救急部長	H31. 4. 1～R2. 3. 31	企業等役員
下地武義（救急救命士学科） 医療法人天仁会 天久台病院	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
笠原大吾（救急救命士学科） 薬剤師	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
蔵元秀一（救急救命士学科） 理学療法士	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
國吉眞次（救急救命士学科） 保護者	H30. 4. 1～H32. 3. 31	PTA
平安名玄旬（パティエ・ブーランジェ学科） 沖縄洋菓子協会会長	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
村濱千賀子（パティエ・ブーランジェ学科） 沖縄県栄養士会 会長	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
下地玄旬（パティエ・ブーランジェ学科） 沖縄洋菓子協会顧問	H30. 4. 1～H32. 3. 31	企業等役員
大城安（臨床工学技士学科） 一般社団法人沖縄県臨床工学技士会会長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
仲地弘道（臨床工学技士学科） 医療法人沖縄徳洲会病院臨床工学技士長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
垣花美智江（臨床工学技士学科） 沖縄リハビリテーション病院副院長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
國吉正人（柔道整復師学科） 公益社団法人沖縄県柔道整復師会副会長	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員
宮城貴（柔道整復師学科） 沖縄県柔道整復師会理事（保険部長）	H31. 4. 1～R3. 3. 31	企業等役員

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を実施・公表する。
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

https://www.sola.ac.jp/sola/guide/
